

折紙探偵団新聞

夏バテ
の
第9号

120円

切り込み

No. 3

前回は展開図は折紙分子を組み合わせるだけで簡単にできることを書きました。今回は折紙分子についてもう少し見てみます。

図1は「ピバおりがみ」という本のなかで前川氏が「第二次三角形」と名付けた図形です。前川氏はこの「第二次三角形」と本連載で既に出てきた「直角二等辺三角形分子」を組み合わせて多くの作品を設計しています。

ではこの「第二次三角形」は折紙分子でしょうか？実はその通りで、「第二次三角形」も折紙分子の一種と見なされます。ただし、この分子は、角加減値（かくかげんち）という概念を使って折紙分子の外辺部の性質を調べてみると、本連載で今までに出てきた折紙分子とは少し性質が異なるのです。

今までに出てきた折紙分子は「一値分子（いっちぶんし）」というグループに属し、「第二次三角形」は「二値分子（にちぶんし）」というグループに属します。一値分子、二値分子について、ここでは詳しくは触れませんがとりあえず名前だけ覚えておいて下さい。二値分子は少し扱いが難しいので、本連載では最初は一値分子のみを用いて設計を行います。（角加減値について興味のある方はご連絡下さい。）

今度は一値分子を自分で作って見ましょう。ここでは適当な三角形から一値分子を作ってみます。

図2左側は適当な三角形の3つの頂点の各々の二等分線を山折にしたものです。これでもう分子ができました。正確には谷折線1本が抜けていますが、気にしないで楽に折り畳めます。簡単ですね。面白いことに、どの様な三角形でも3本の山折線は図の様に一点（内心という）で

実用折紙設計法

目黒俊幸

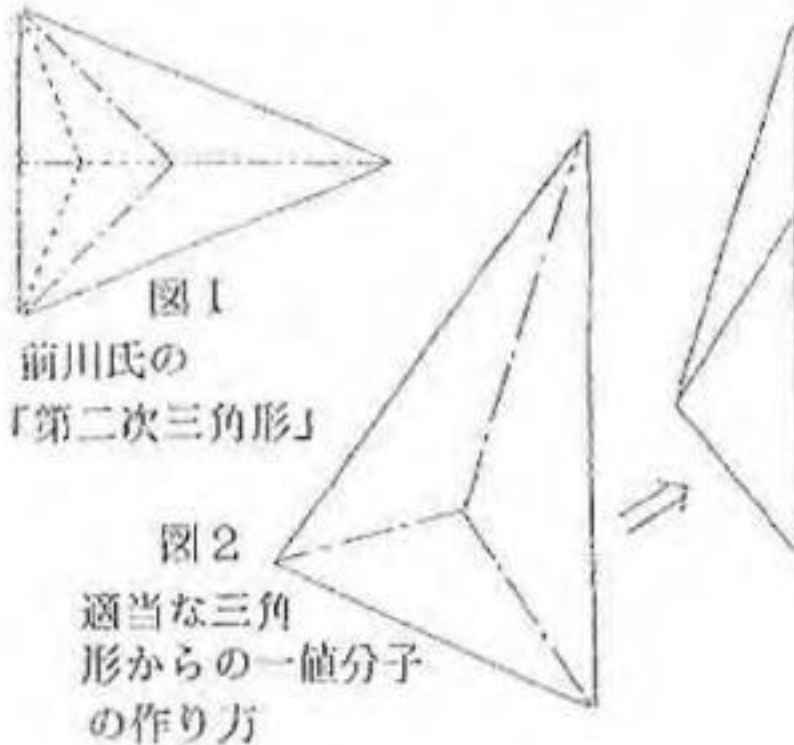
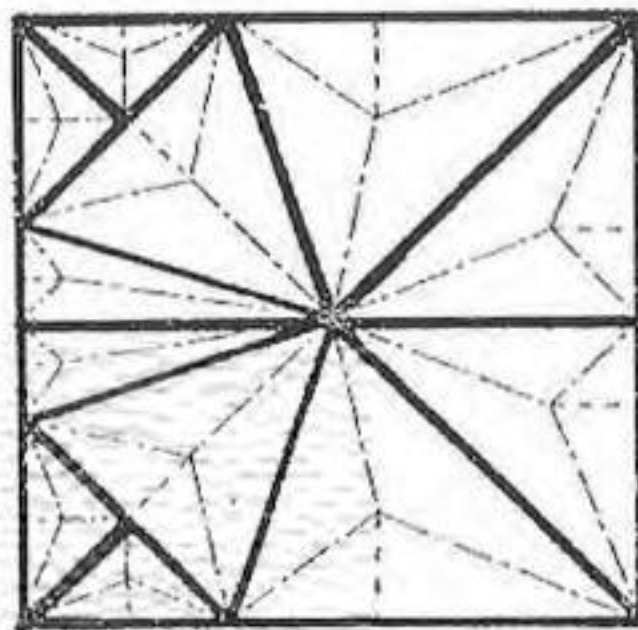


図4 「ばった」の折紙分子



交わります。興味のある方は伏見夫妻の「折り紙の幾何学」をお読み下さい。この折線をもとに折り畳むと図2右側になります。

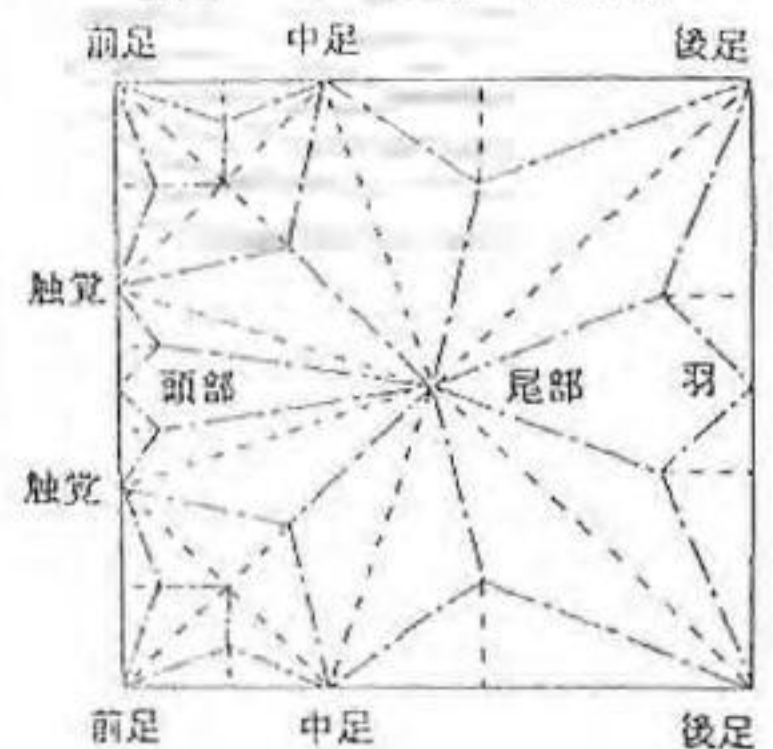
この様にしてできた三角形分子を「内心の定理による三角形分子」と呼びます。直角二等辺三角形分子も内心の定理による三角形分子の仲間です。

この辺で、実際に折紙分子を用いた設計例を見てみましょう。

図3は私の設計した「ばった」の基本的な展開図と実際に折った形です。図3で折り紙分子を強調すると図4の様になります。

ここで図3、図4の展開図をじっと眺めて見ましょう。この時以下の

図3 「ばった」の展開図



実際に折った形



項目に注目して下さい。

- 1, 展開図のどの部分が、折上がりのどの折角と対応しているか。
- 2, どの様な分子がどの様に使われているか。

この展開図では触覚や足等の折角はほとんど用紙の辺部から折出されています。この様な折角の配置を持つ展開図は比較的扱いが簡単です。

この展開図の分子は、全て内心の定理による三角形分子です。多くの分子が用紙中央部の一頂点の周りに放射状に配置しています。これは多くの展開図に現れる基本パターンの一つなので覚えておいて下さい。

(続く)



館長代理 西川誠司

第6回 カナダ編

今回は、私がカナダの青柳さんを訪ねたときに知り合った折り紙仲間をご紹介します。青柳さんは、トロント市を拠点に北米での折り紙の普及活動を熱心に行っておられます。

そのひとつであるオリガミソサイエティーオフトロント（OST）には、熱心な折り紙ファンが大勢集まっています。

Jessica Mann（ジェシカ・マン）トロント市在住。ハイスクールに通う折り紙大好き少女。彼女の部屋の本棚にはラング、モントローから日本の吉沢、笠原にいたるまで折り紙の本がびっしり。OSTの主力メ

折紙名人館

Jessica Mann



Janet T. Yoneda

ンバーで、笑顔絶やさない人気者です。最近は、創作にもチャレンジされているようです。私が訪ねたときには薄手の紙で折った卵を懐中電



Steve Matheson

灯で透かしてみせて、中にひよこが折り込んであるアイデアをととても嬉しそうに披露してくれました。そのはにかんだ笑顔がとてもチャーミングな少女でした。

Steve Matheson（スティーブ・マティソン）28才ですが、2児の父親です。折り技術ではOSTメンバーの中でもトップクラス。紙を裏打ちして非常に仕上がりの良い作品を折りあげることにも興味を持っておられます。

Janet T. Yoneda（ジャネット・ヨネダ）トロント市から時差で2時間離れたエドモントンにお住まいの医者さん。ご主人が大学で昆虫の研究をなさっているとのことで、ご本人も昆虫の折り紙が好きだとおっしゃっていました。

おりがみ庵

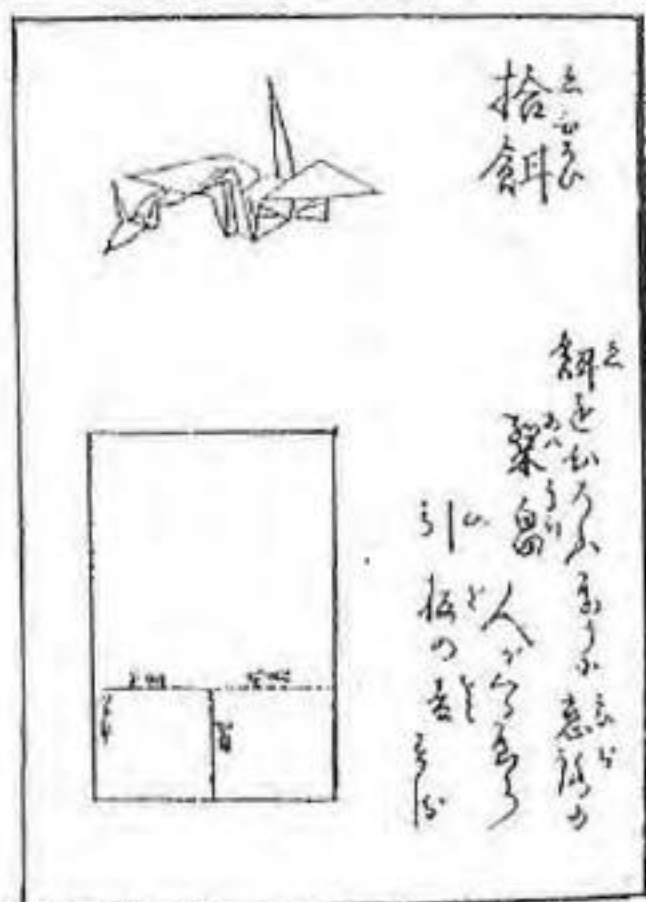
【第五回】

岡村昌夫

『秘伝千羽鶴折形』という本は、この十数年の間に、折り紙ファン層の中に深く静かに浸透していた。一人でこつこつ折る少年がいるかと思えば、千羽鶴折形研究会を作って研鑽を重ねる熟年者のグループがあったり、その年齢性別を問わぬ広がりぶりを考えると、ここにこそ折り紙の魅力とは何かという問題の鍵を見る気持ちがあるのである。

ところで、『千羽鶴折形』は、数々の誤解に取り囲まれた不幸な運命の書でもあった。今回のNOAブックスの解説書は、その誤解を少しでも晴らしたいという著者たちの情熱の表れだったことを多くの読者の皆さんに理解して頂きたい。その意味もあって、本稿も当分『秘伝千羽鶴折形』に集中することになる。

『秘伝千羽鶴折形』には、49種の作品の折形図（完成図）と、それぞれの用紙切り方図（また一部は展開図）が描かれているわけだが、その切り方図は、紙の裏を上にして描かれたものである。大部分の折形は



どちらであっても関係がないため、これは案外に気が付きにくいことであつたが、よく見ると『拾餌』の切り方図は裏が上であつた。試しに表を上にして折ってみると、小鶴が原折形図とは反対の、向かって右側に付いてしまうのが解るだろう。裏を上にした図ならば、サブトン折りが自然に折れるし、用紙に製図して切り取る場合にも奇麗に仕上げるためには便利である。複製本をそばに置いて見る読者の便を考慮して、解説の方も原本通りにして置いた。従来の同種本がすべて表を上にしていう事情もあって、混乱している向きもあるとのことだが、是非

先入観によらず解説の初めの部分から順に読んで頂きたいものである。

用紙に製図するというのも実はあまり感心しない。（私は一度も製図して切ったことがない。）すべて折ることだけで作図できるのだ。挿絵などで見るかぎり、当時の人は、紙とハサミだけで作っている。むずかしげな比率が書いてあって、三角定規やコンパスなどで作図しなければならないものという先入観が（特にご婦人方の中に）『千羽鶴』はムズカシイという観念を植え付けてしまったのではなかろうか。3等分が面倒なら4等分にして切り落とせばいい。7等分ならまず8等分に折ればよいのだ。正しく「等分」にする必要がないものも多い。正しく正方形にする必要も実はないのである。だいたいこの程度という感じで折ればよいのだ。折り鶴はゆがんだ紙でも折れるのだ。正しく等分したところで、ツナギ部分を切り残せば、どうせ不正確になってしまう。定規を使わないで作図できるというのが折り紙の魅力の一つであるということは数学好きの人には常識であろう。しかし数学の嫌いな人達までがなにも一生懸命に幾何のお勉強よろしく難しい作図をすることはしないのではないかと思う。

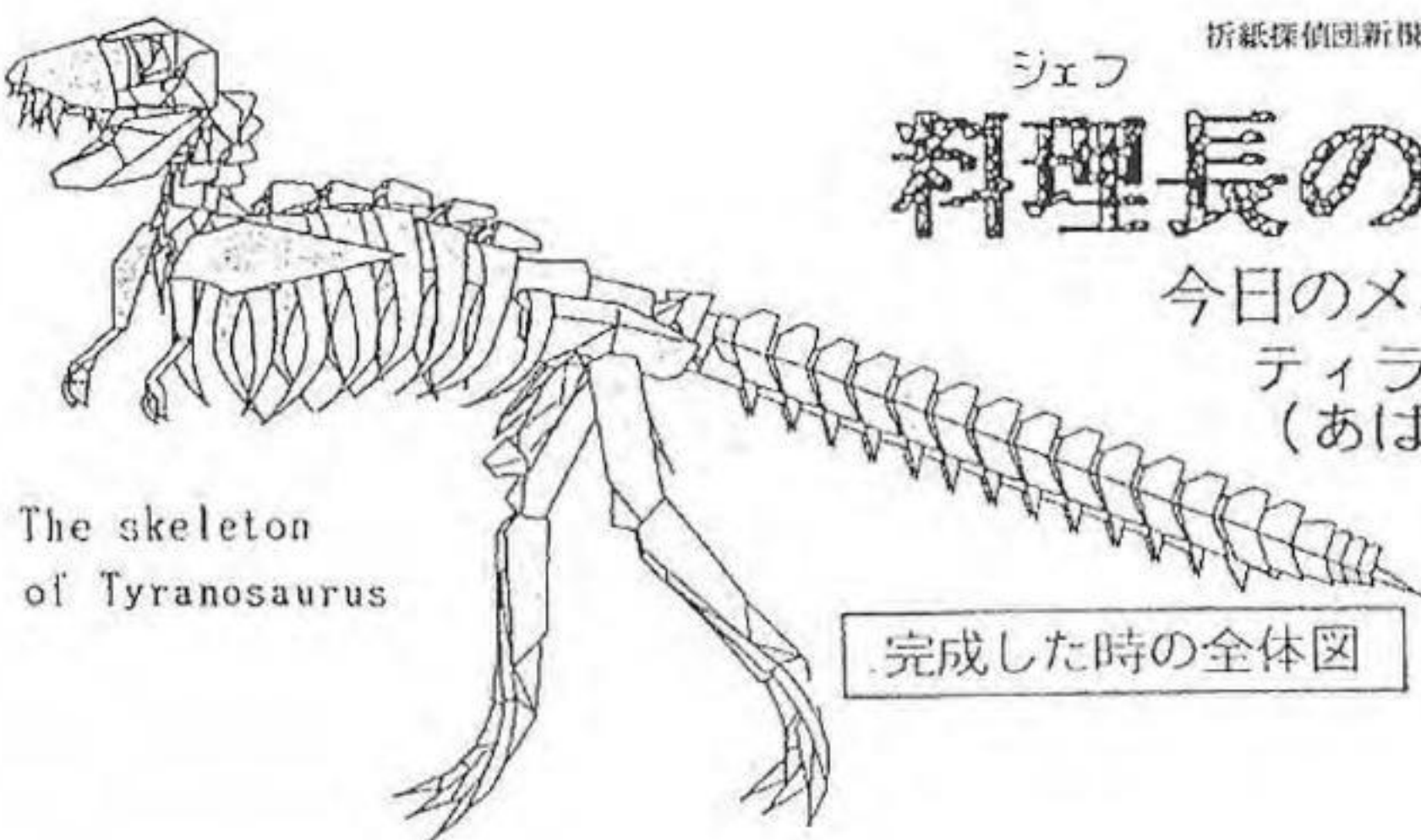
シェフ

すす

料理長のお褒め品

今日のメニュー

ティラノサウルスの骨格
(あばら骨の前半と腕の骨)



The skeleton
of Tyrannosaurus

完成した時の全体図

料理長 吉野一生

by Issei Yoshino

前回の訂正

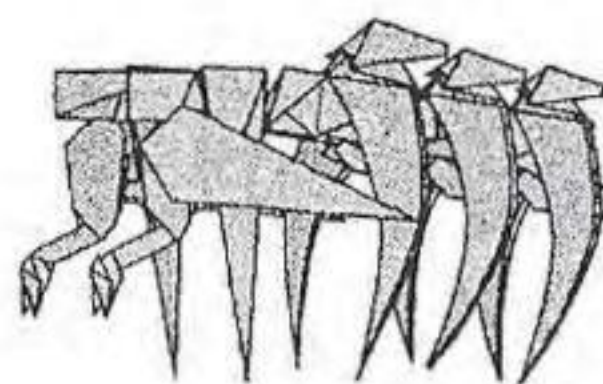
前回の **あばら骨2** の図3 6で間違った記述がありました。
おわびして訂正します。内容は以下のとおりです。

誤： (1)この状態で **あばら骨2-前** はできあがりです。

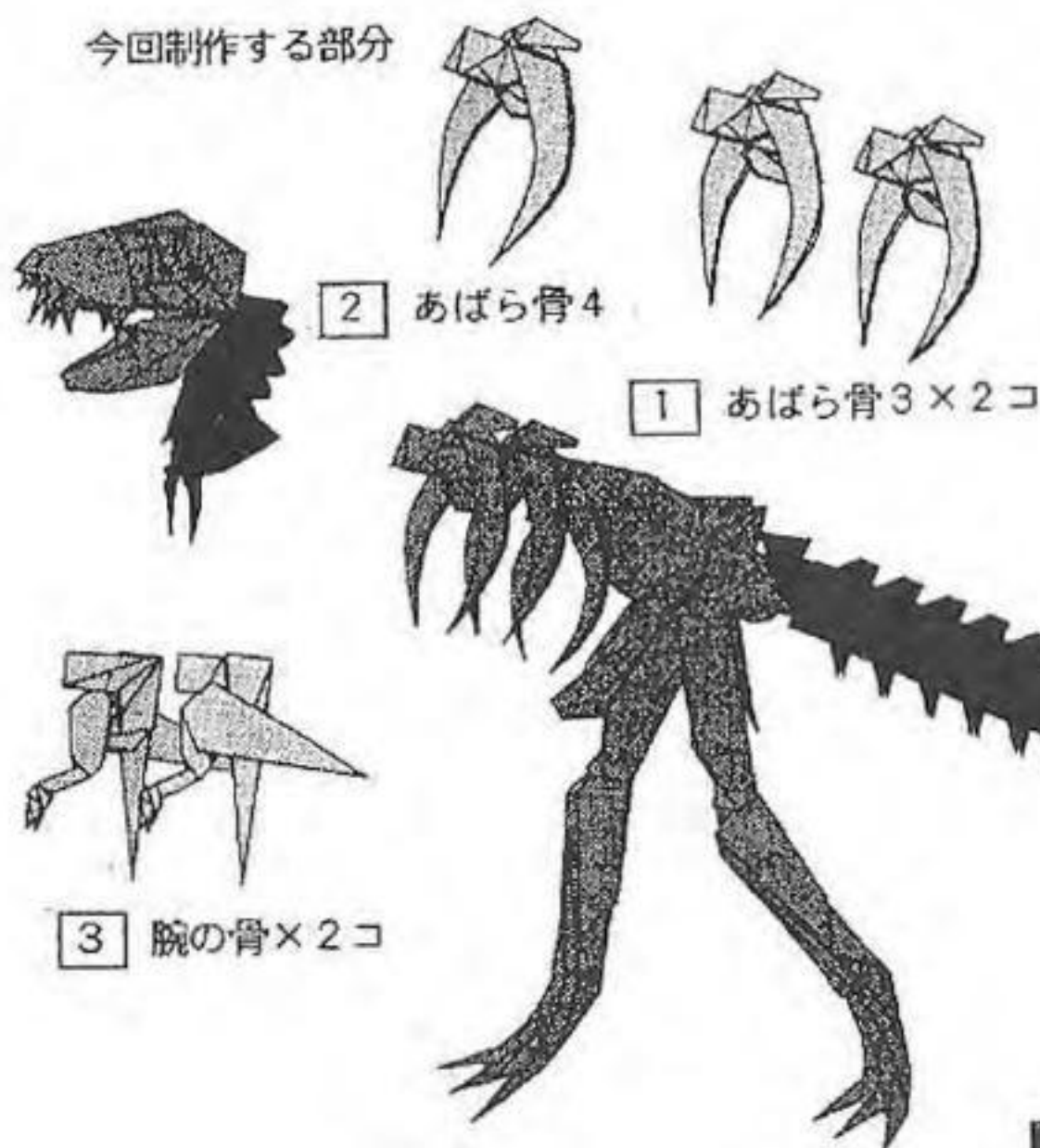
(2)次のステップからは **あばら骨2-後** を作る工
程になります。

正： (1)この状態で **あばら骨2-後** はできあがりです。

(2)次のステップからは **あばら骨2-前** を作る工
程になります。



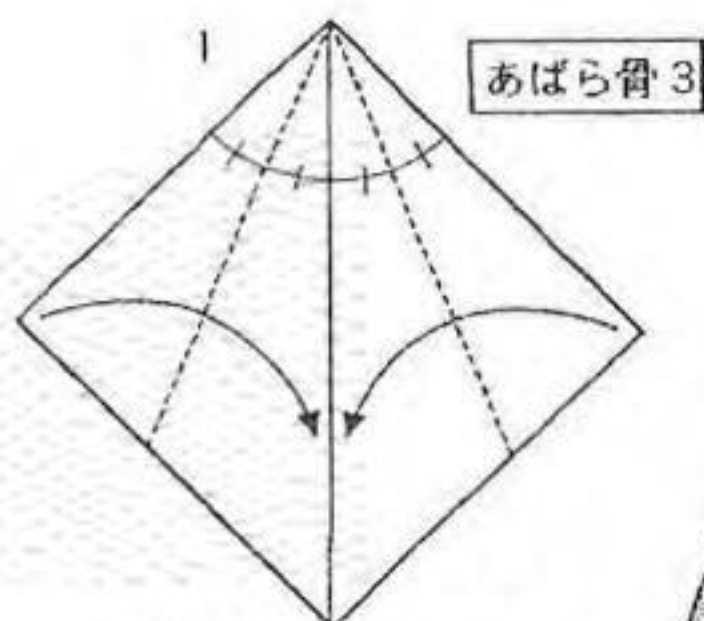
今回制作する部分



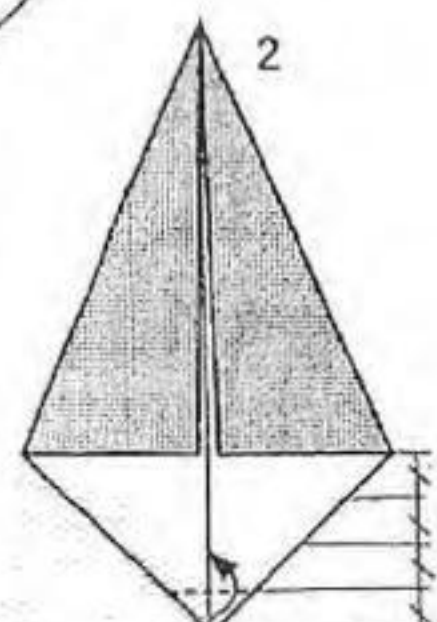
3 腕の骨 x 2コ

2 あばら骨4

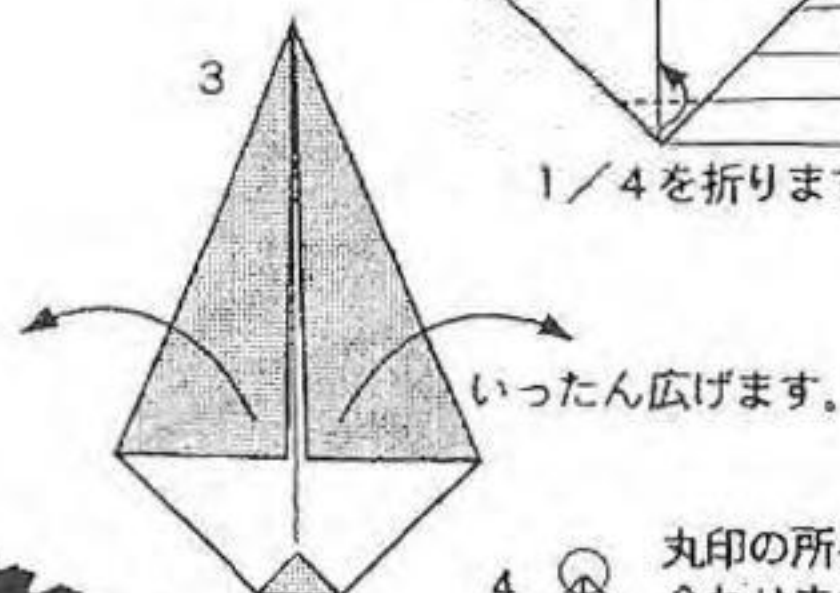
1 あばら骨3 x 2コ



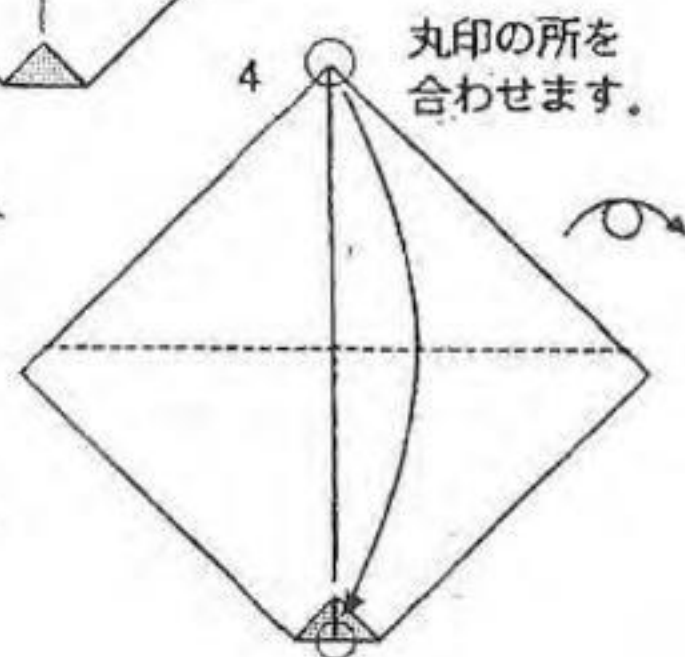
中心線に辺をそろえます。



1/4を折ります。



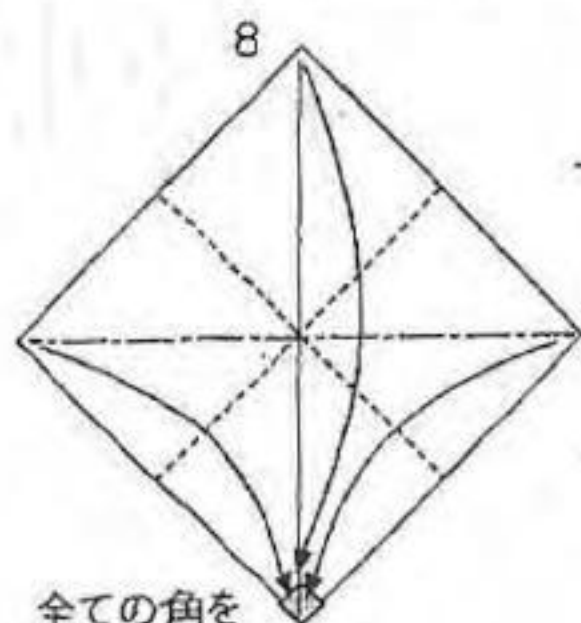
いったん広げます。



丸印の所を
合わせます。

■ 未作成の部分

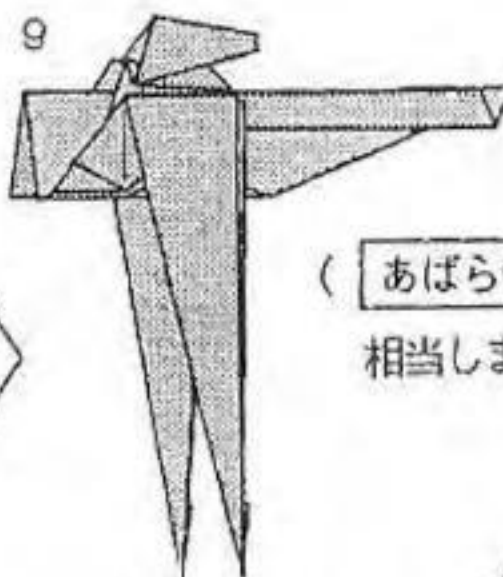
■ 前回までに完成した部分



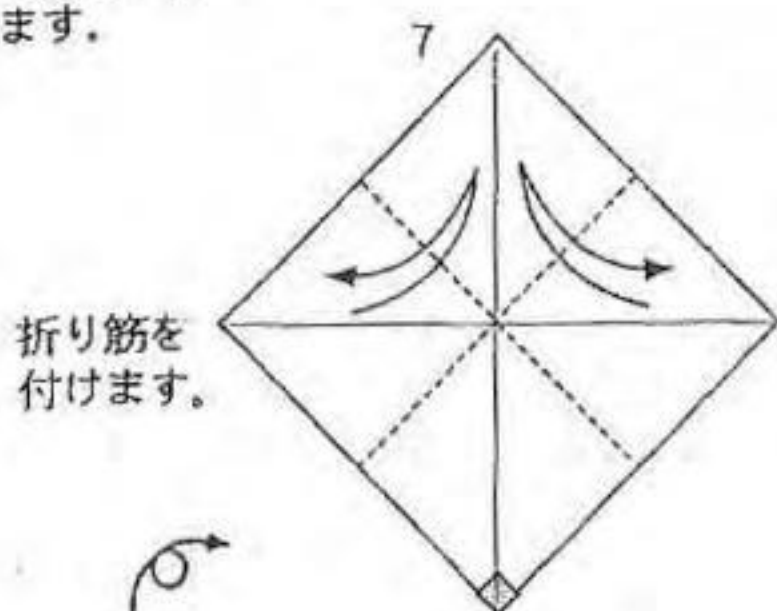
全ての角を寄せます。

中間説明省略

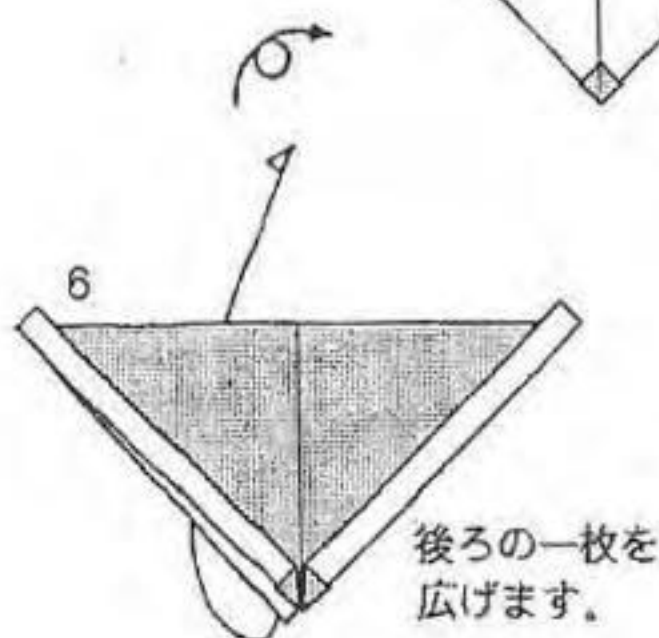
ここからは前回の **あばら骨2** の9~35と同じです。
(2の折り方が違うので多少比率が違ってきます。)



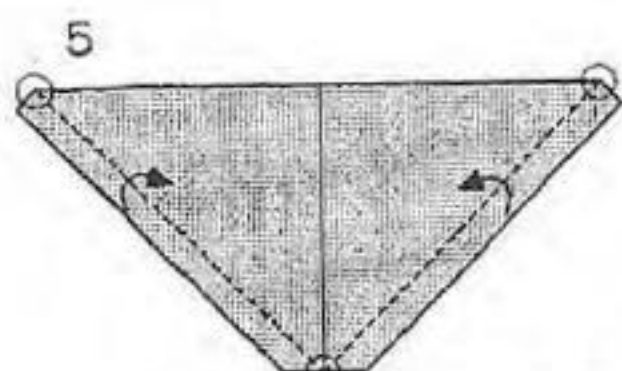
(**あばら骨2** の36に相当します。)



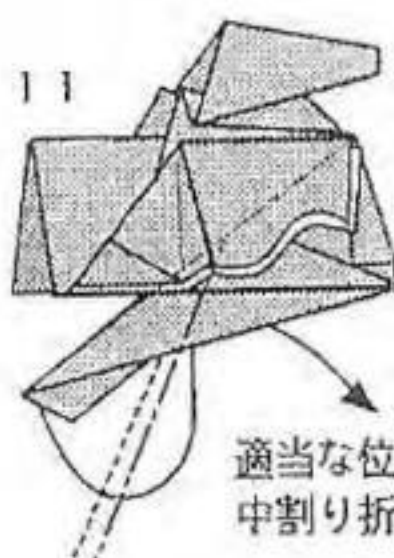
折り筋を付けます。



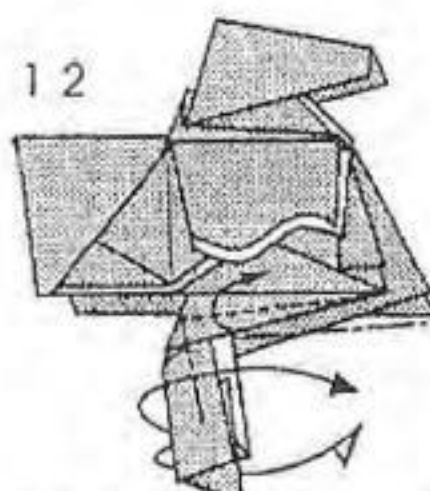
後ろの一枚を広げます。



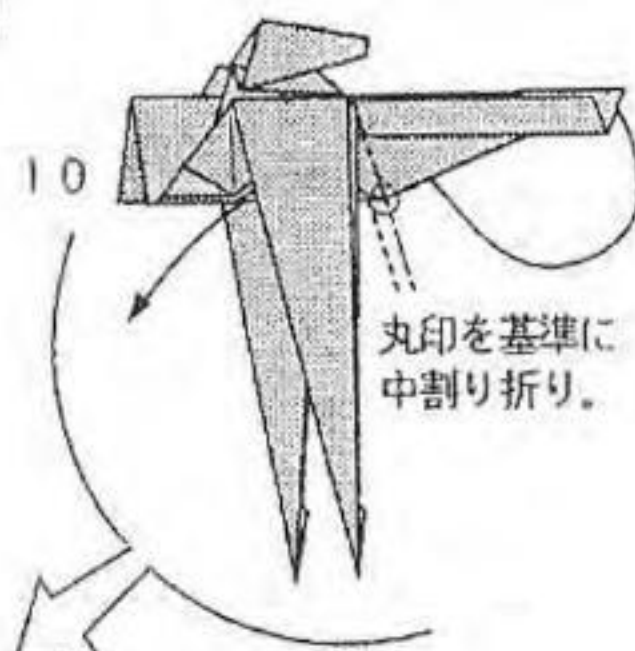
丸印の所を基準に折ります。



適当な位置で中割り折り。



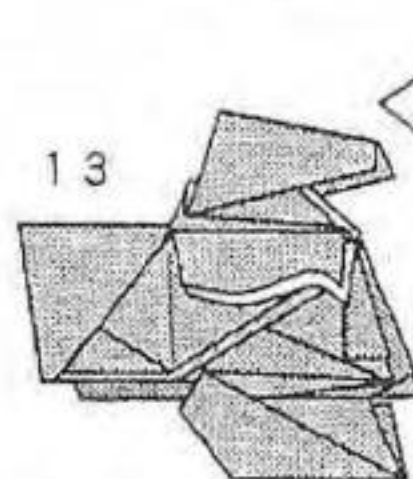
全体をひっくり返すように折ります。



丸印を基準に中割り折り。



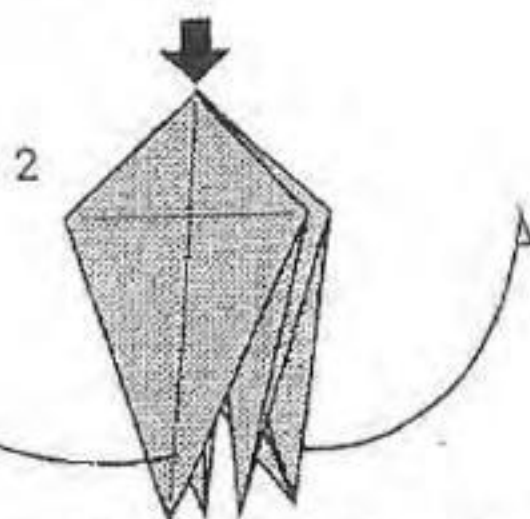
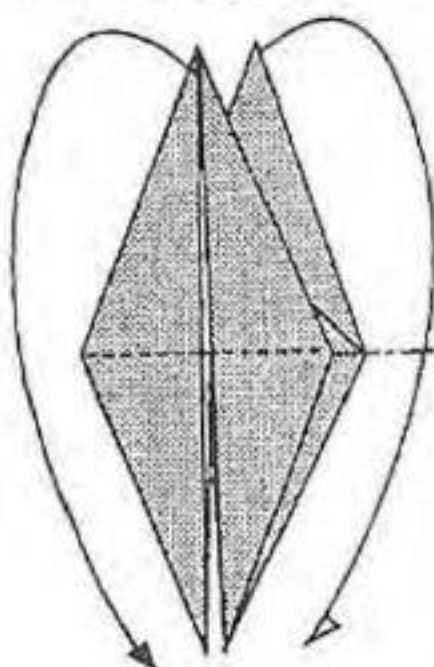
あばら骨3
できあがり
これを **2個** 作ります。



折り上がった図。

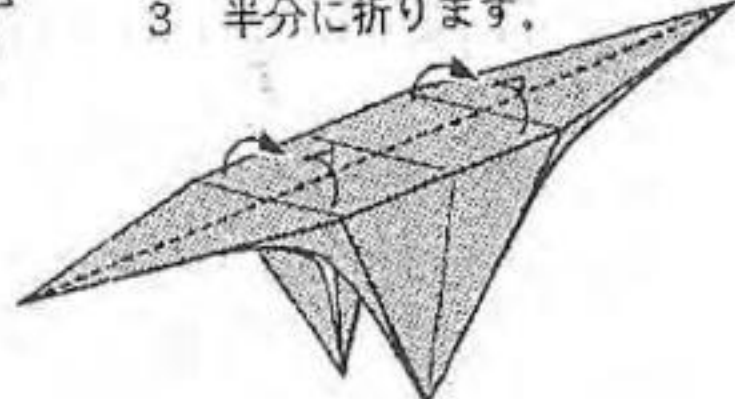
あばら骨4

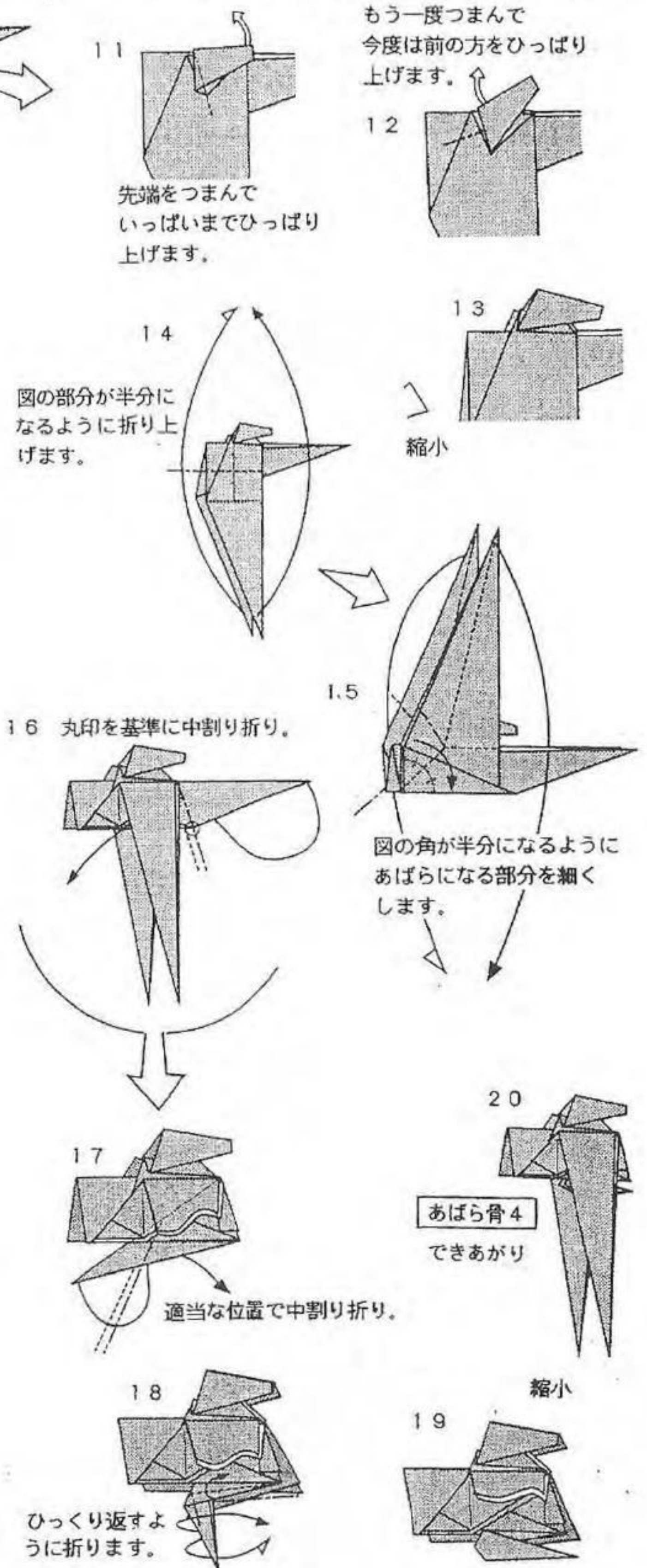
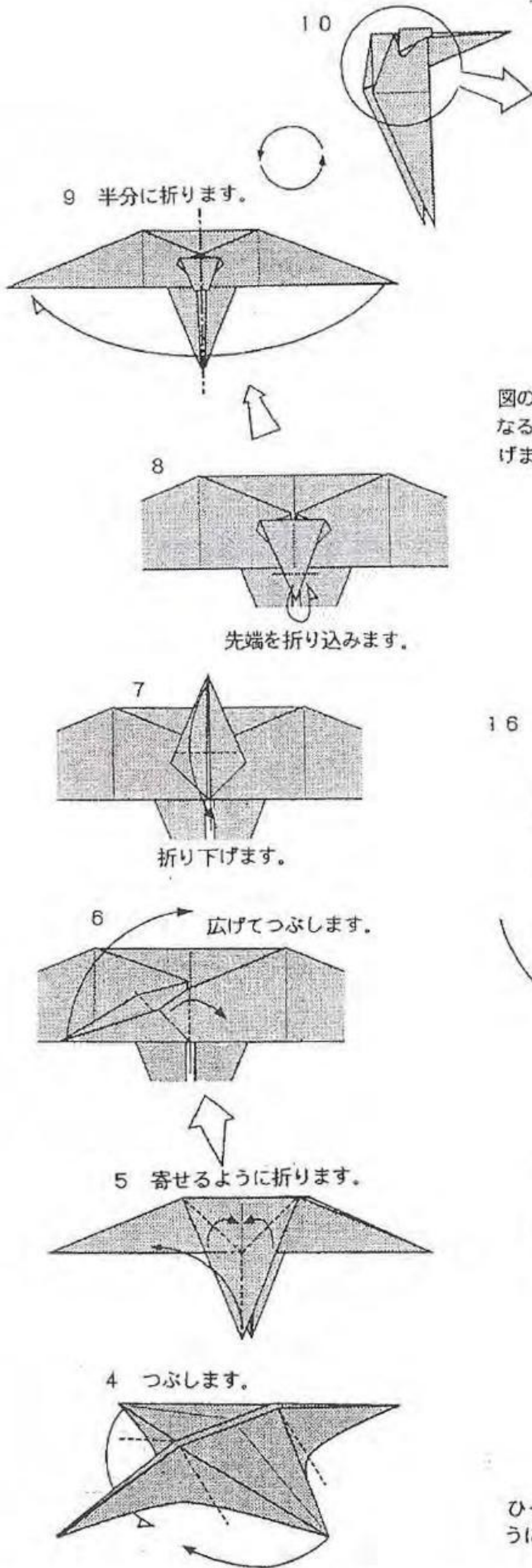
1 つるの基本形より



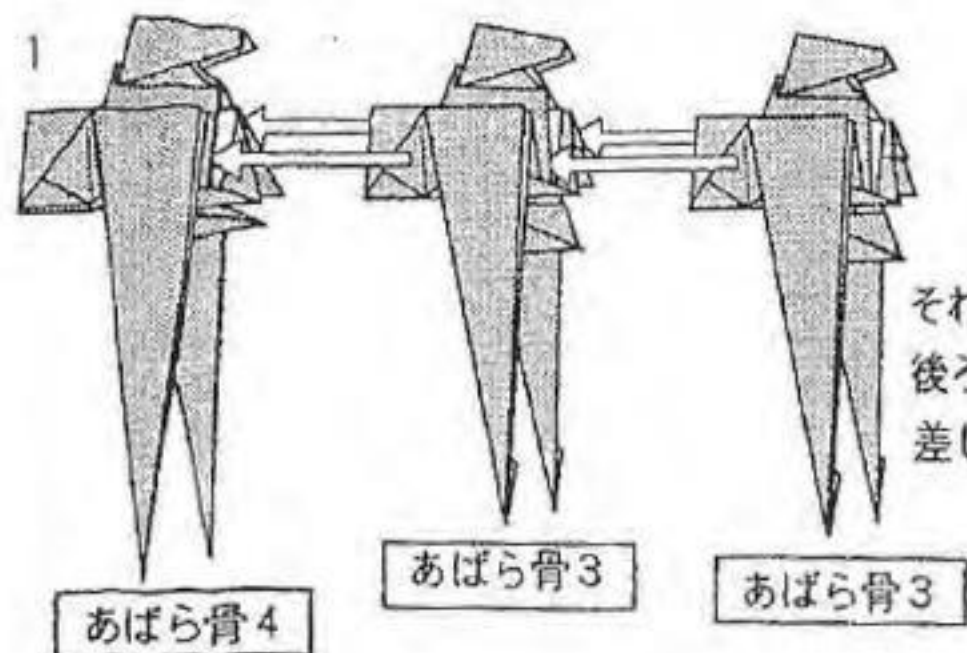
前後のはしを引っ張って上からつぶします。

3 半分に折ります。

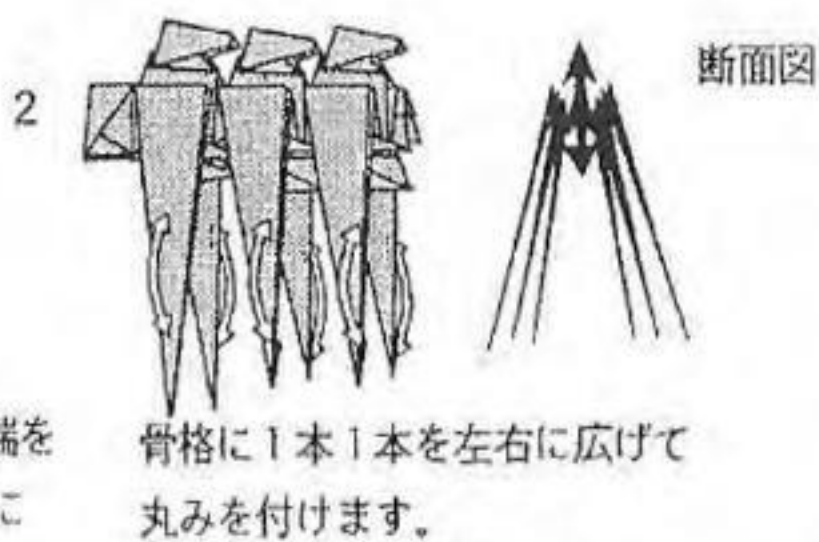




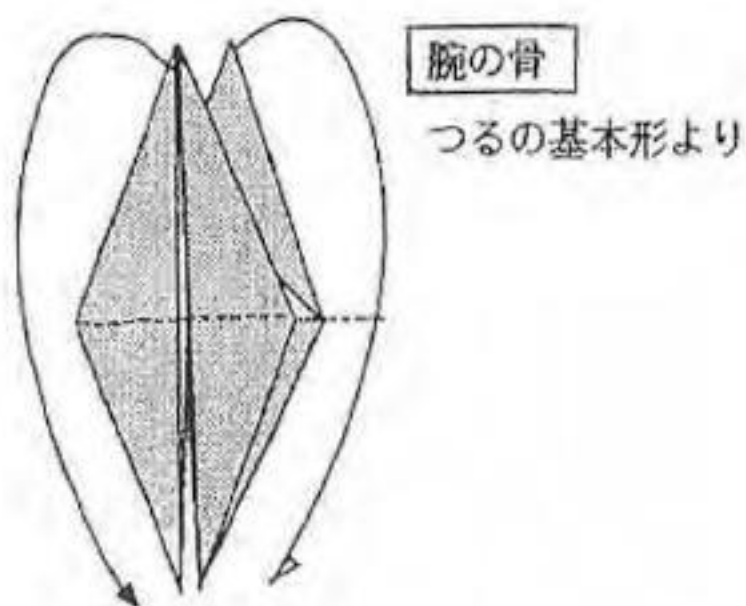
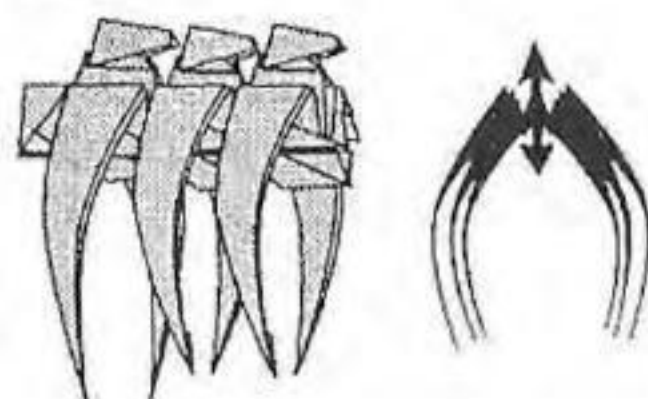
あばら骨前半の組み合わせ



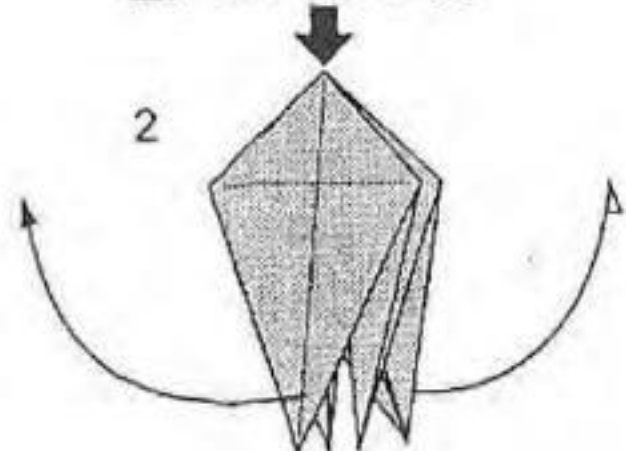
それぞれの先端を
後ろのすきまに
差し込みます。



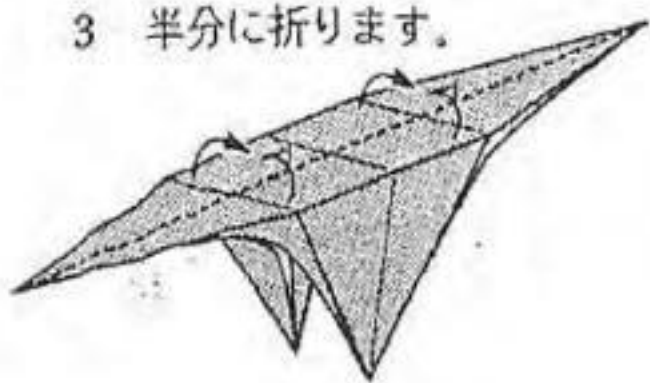
骨格に1本1本を左右に広げて
丸みを付けます。



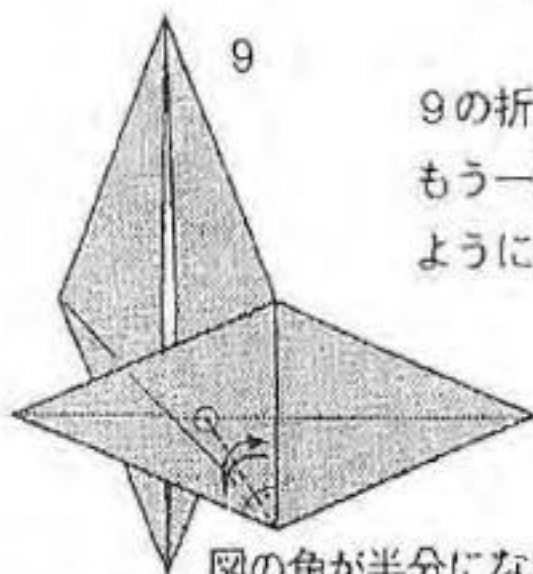
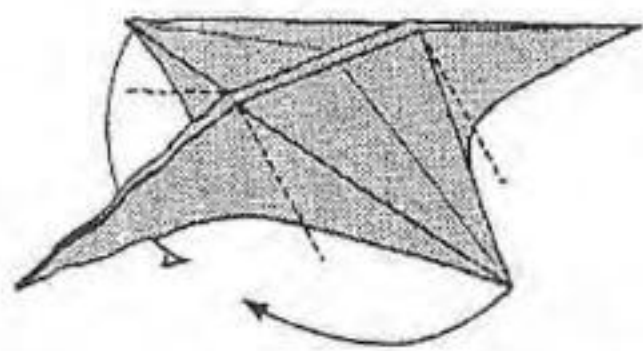
前後のはしを引っ張って
上からつぶします。



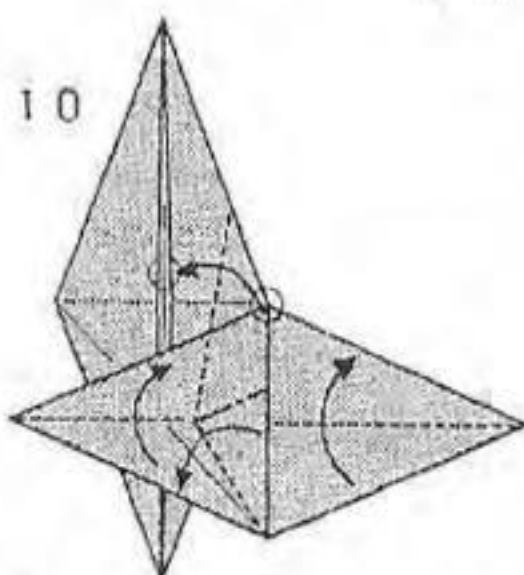
3 半分に折ります。



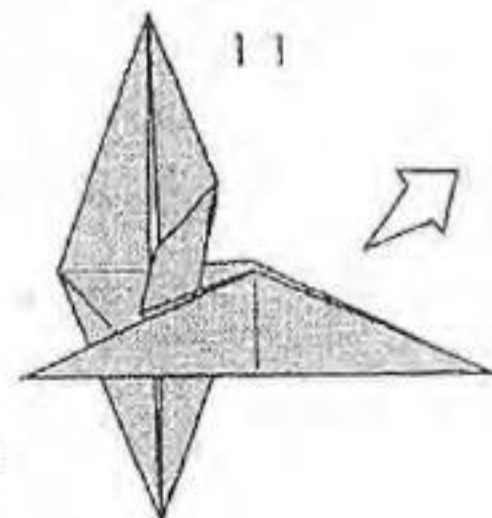
4 つぶします。



図の角が半分になるように
折り筋を付けます。

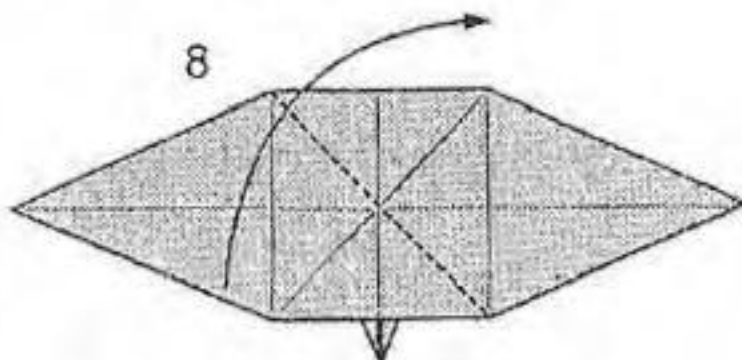


9の折り筋を使い丸印角を
もう一方の丸印の線に合わせる
ように折ります。

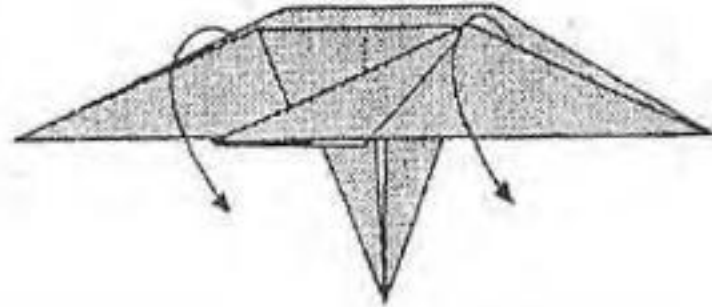


8

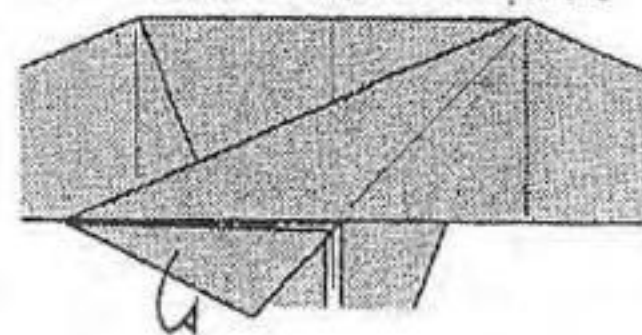
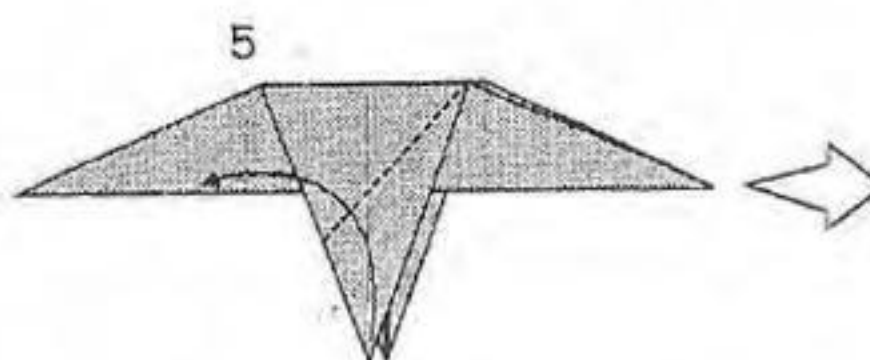
ななめに半分に折ります。



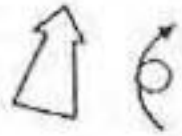
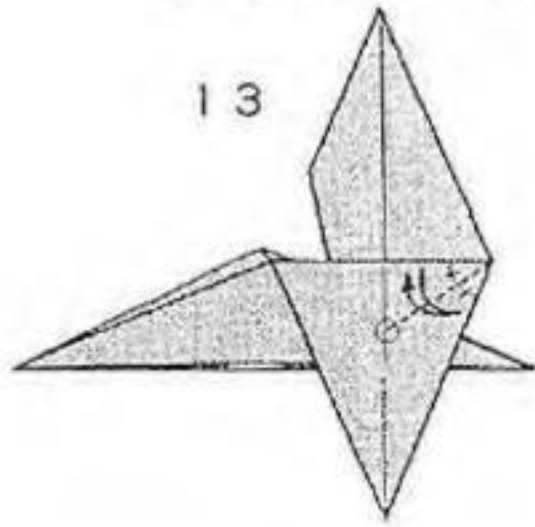
7 開きます。



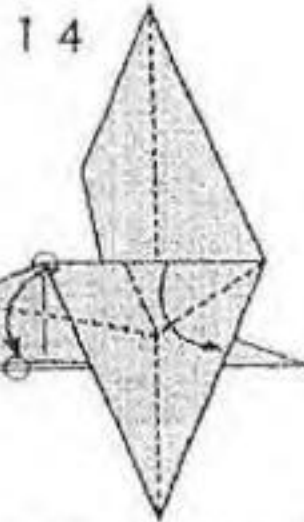
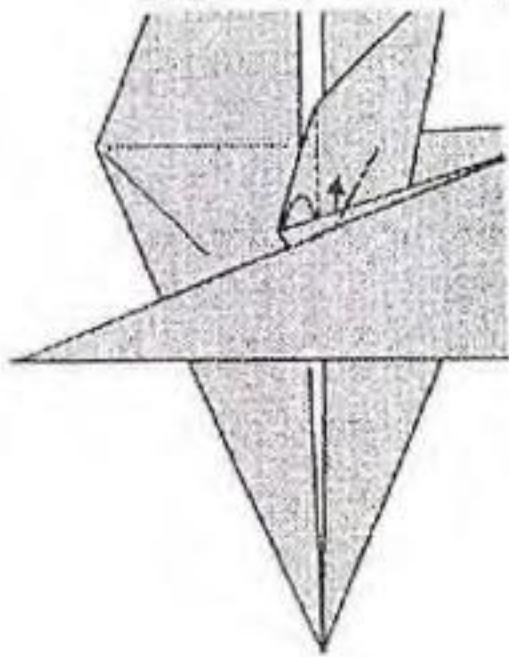
6 一番向こう側にたおします。



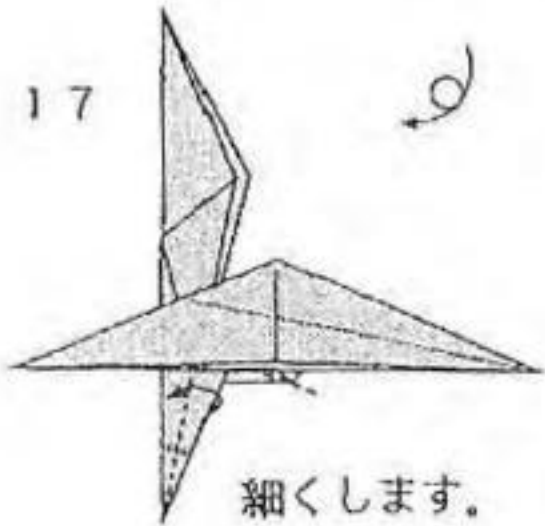
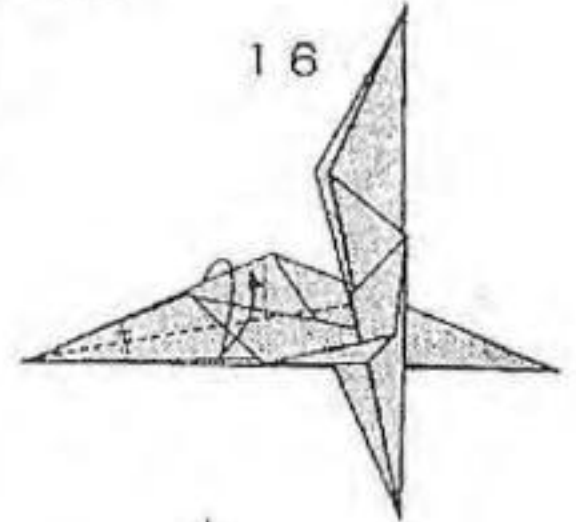
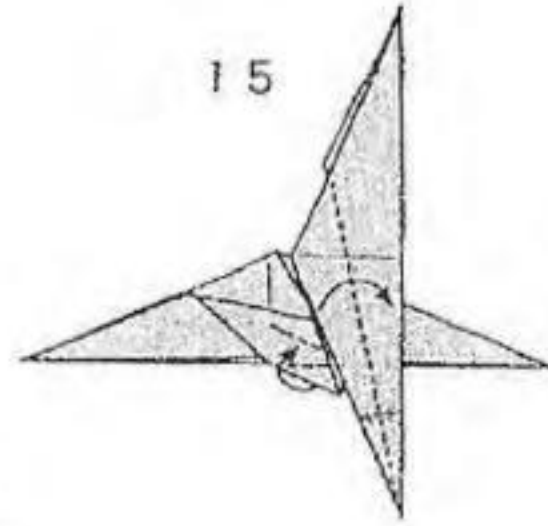
図の角が半分になるように
折り筋を付けます。



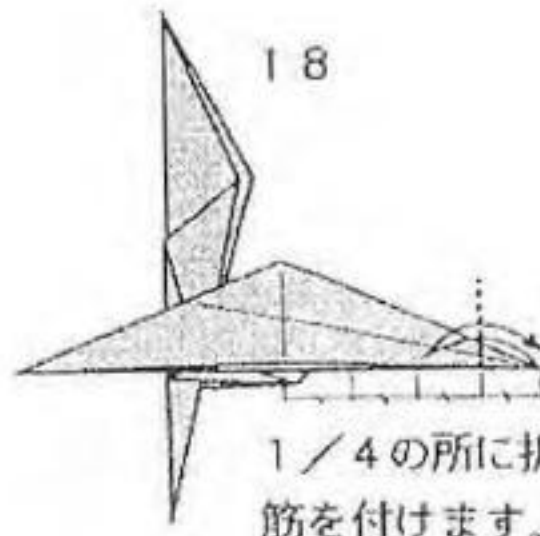
12 中心線にそろえるように
余分な角を中割り折り。



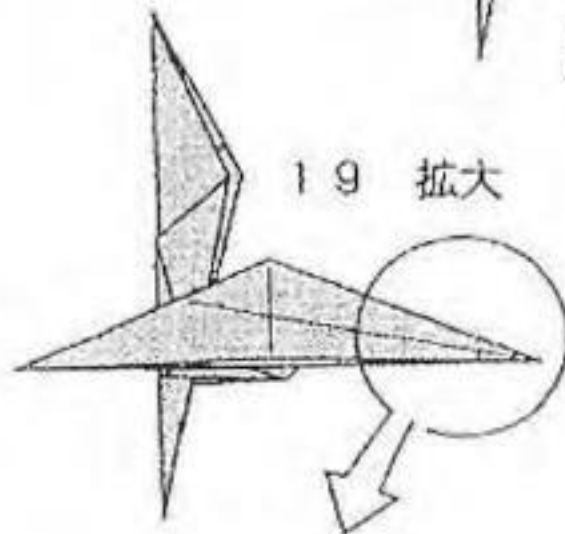
9の折り筋を使い丸印角を
もう一方の丸印の線に合わせ
ます。



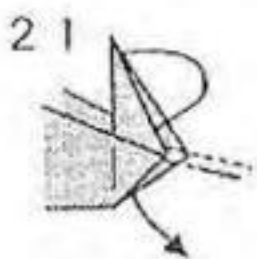
細くします。



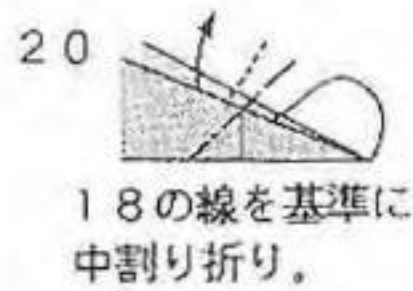
1/4の所に折り
筋を付けます。



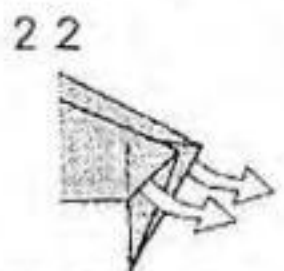
19 拡大



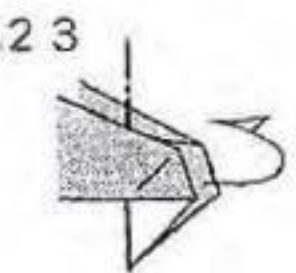
もう一度中割り折り。



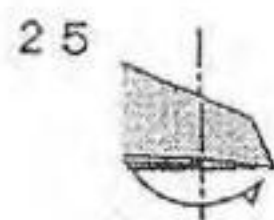
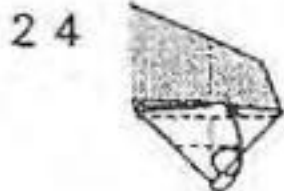
18の線を基準に
中割り折り。



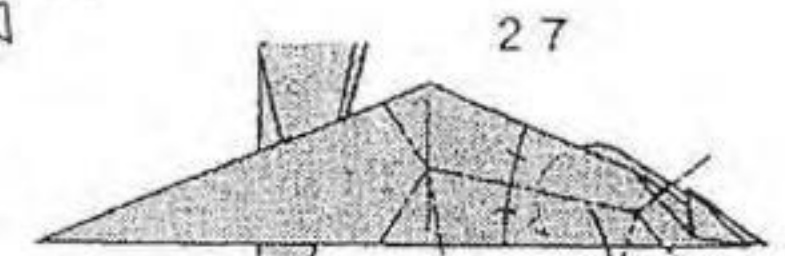
引っ張り出します。



巻き込みながら
中に入れます。



立体的に
つぶして
折ります。

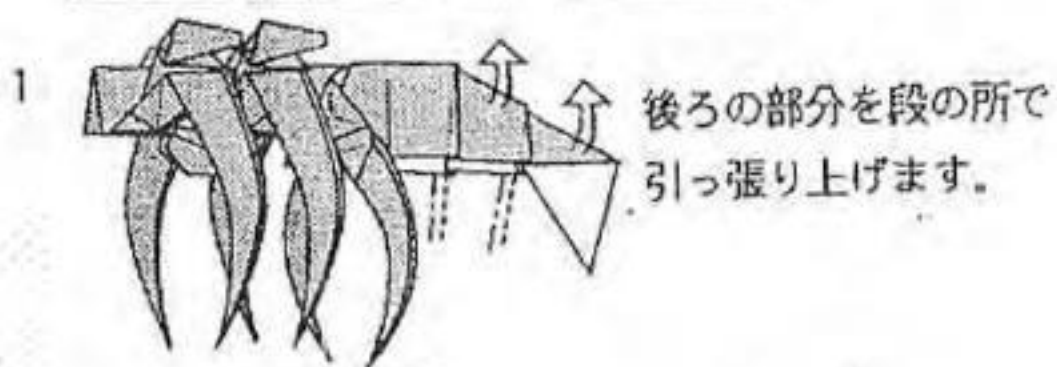


上下からつまむように半分に
折りながら一気に折り下げます。

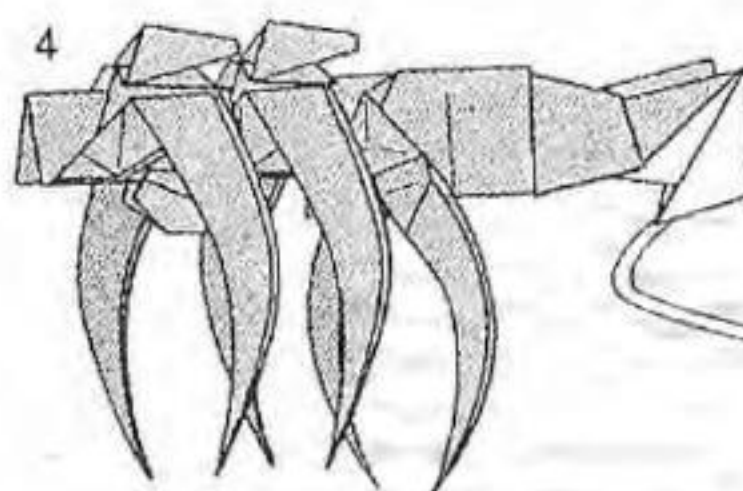
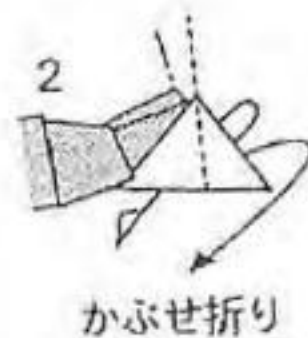


26 先端を細く尖らせます。

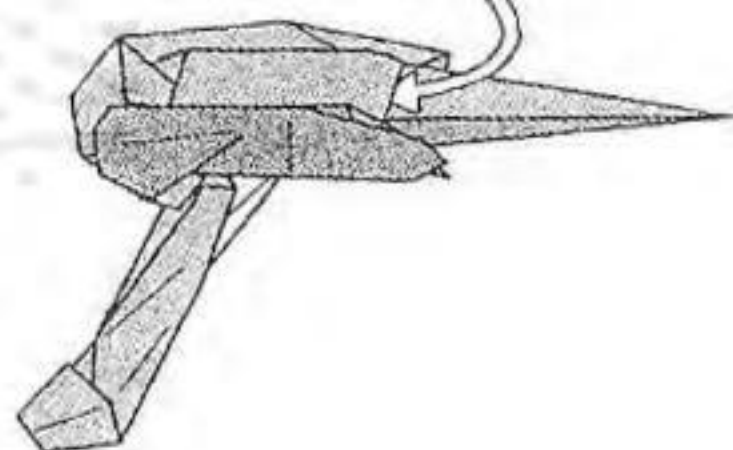
あばら骨後半と腰の骨との組み合わせ



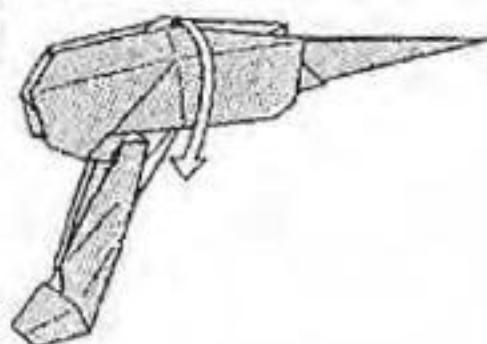
あばら骨後半



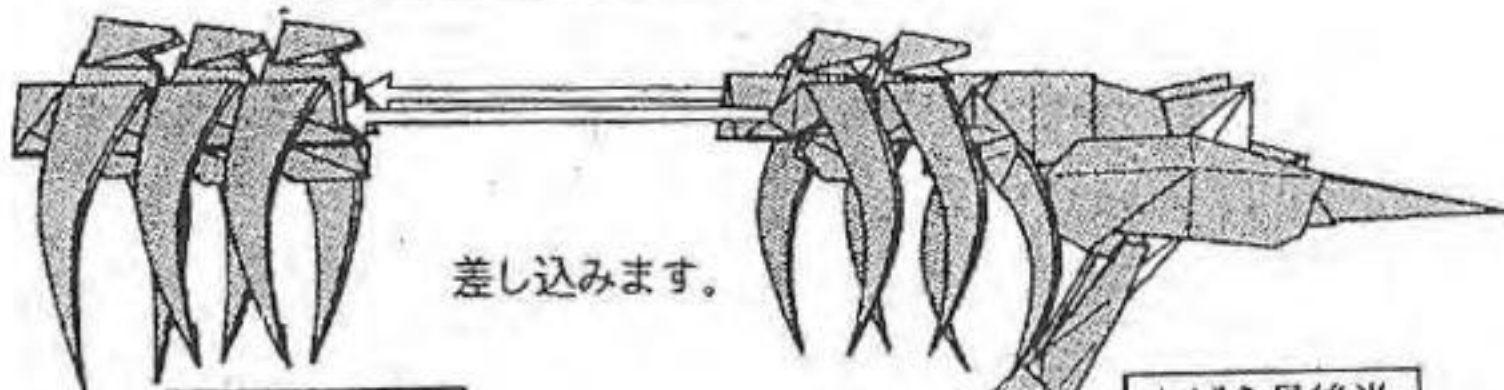
あばら骨後半の
カギ状の部分を
引っ掛けます。



前々回 脚の骨 と組み合わせた
腰の骨



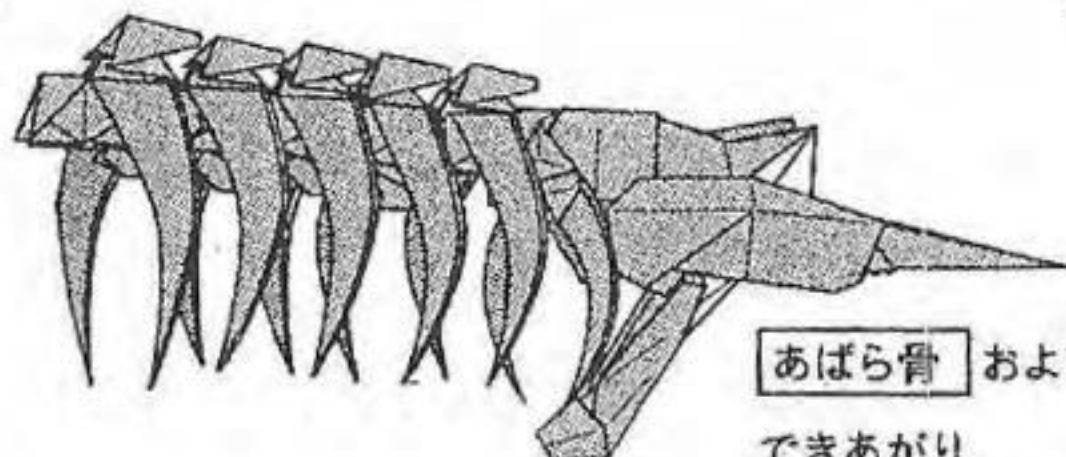
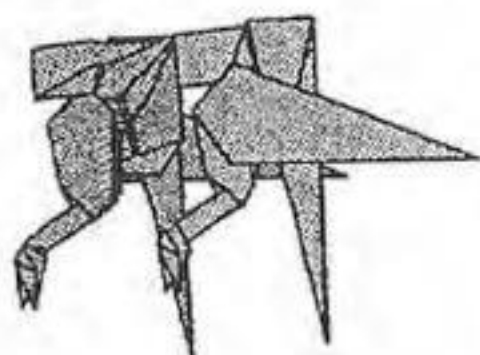
あばら骨前半と後半の組み合わせ



あばら骨前半

あばら骨後半

腕の骨 は次回接続します。

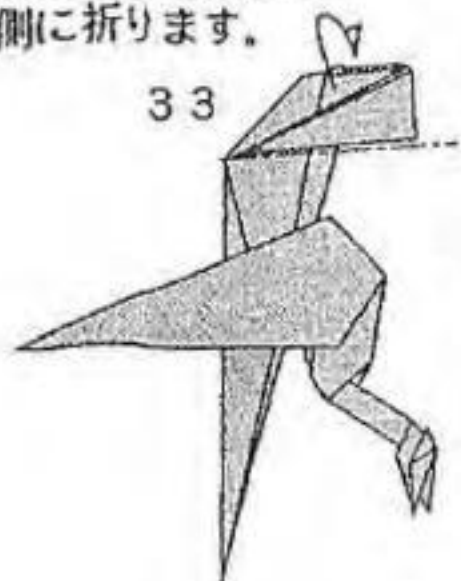


あばら骨 および 腰の骨 組み合わせ
できあがり

1991-JUL-20

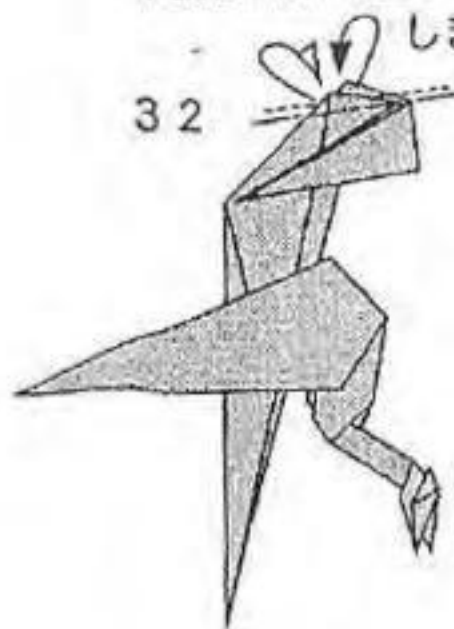
辺に沿って向こう
側に折ります。

33



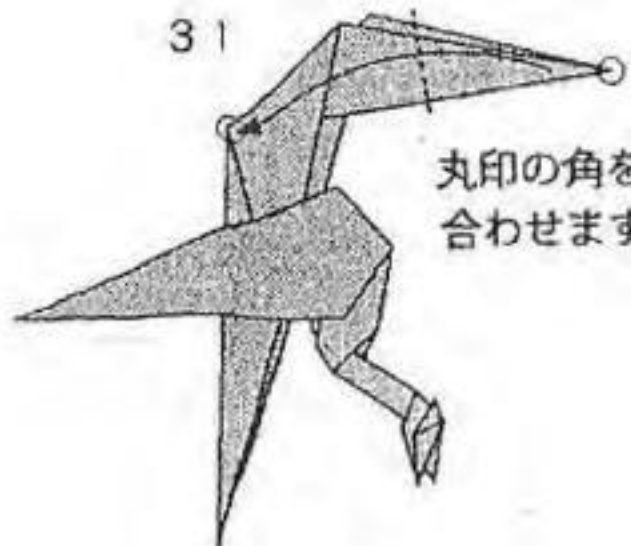
内側に折り込んで細く
します。

32



31

丸印の角を
合わせます。



板長のお奨め品

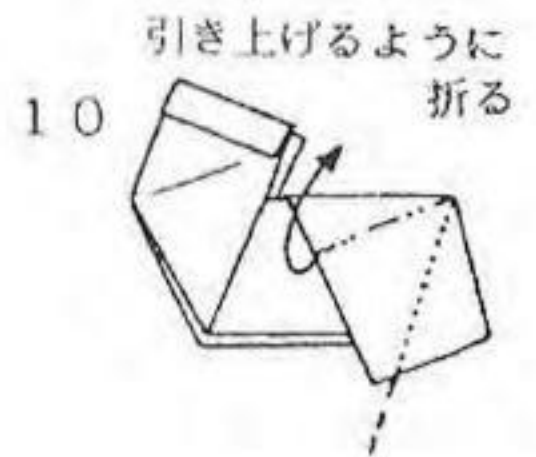
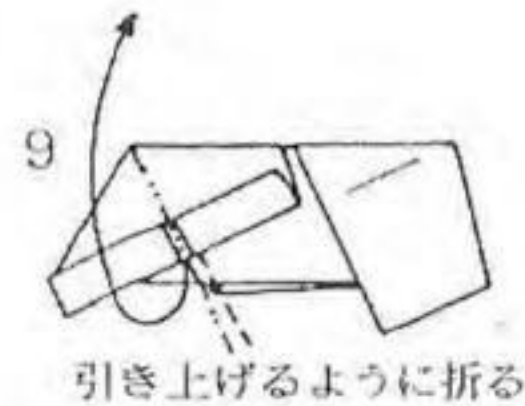
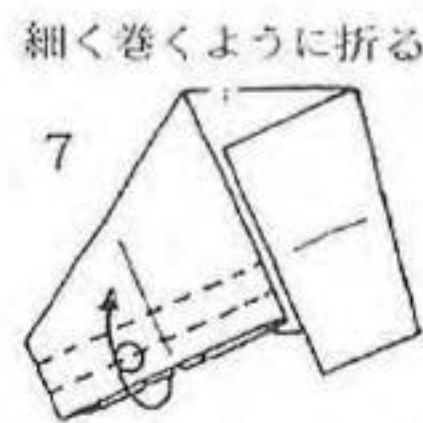
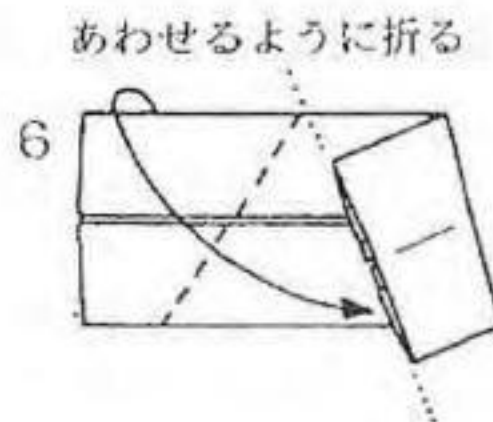
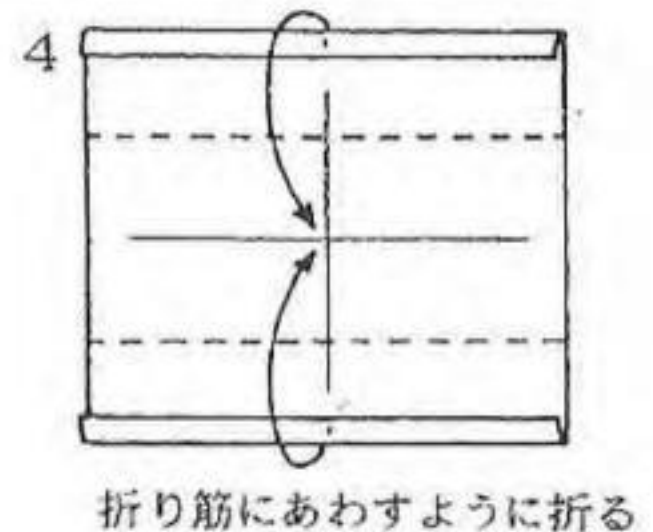
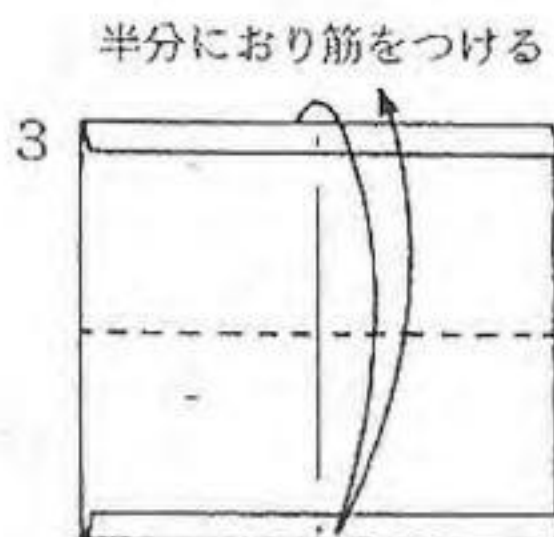
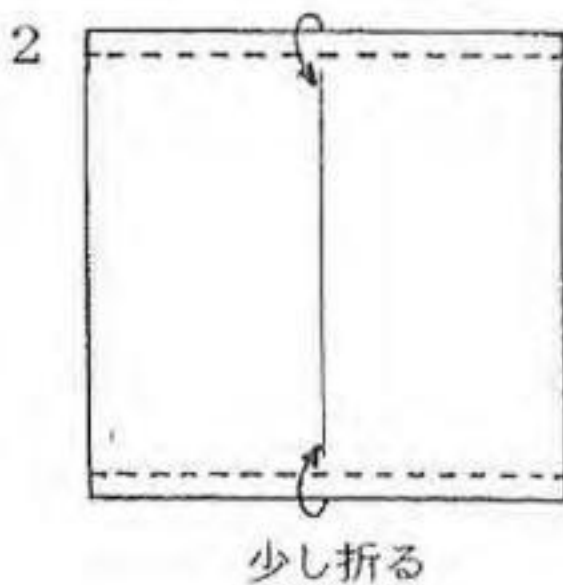
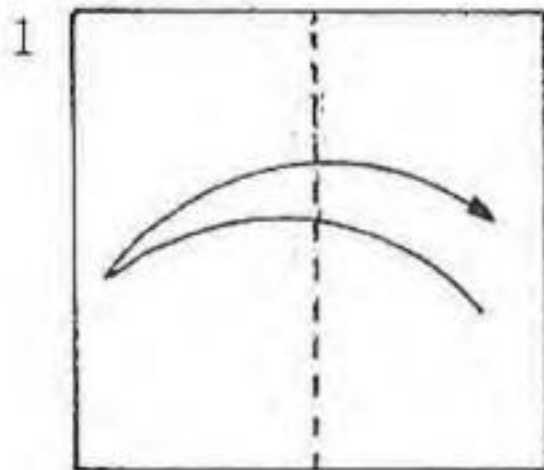
今日の和定食

ベビーシューズ

板長 山口 真

by makoto yamaguchi

今月は演歌という程、こぶしはきいていませんが、誰でも折れるようなやさしい作品を紹介いたします。この作品は、いま書いている本の中に使われるものです。探偵団の皆さんには一足早く紹介します。編集の都合上、しかたなく2回にわたって私の作品が紹介されましたが、皆さんの中で、探偵団に紹介したいと思う作品がありましたら、ぜひ、編集部の方までおくってください。おまちしています。



ギャラリーおりがみはうす 「姫色紙」合同作品展作品募集!

ギャラリーおりがみはうすでは、折り紙愛好家の皆さんの作品を広く一般から募集して、9月に合同作品展を開催します。

折り紙にはいろいろな楽しみ方があるのは皆さんの方がよくご存知だと思います。今回、皆さんから募集する作品は、姫色紙といって、とても可愛い色紙を使用して作って頂く作品です。

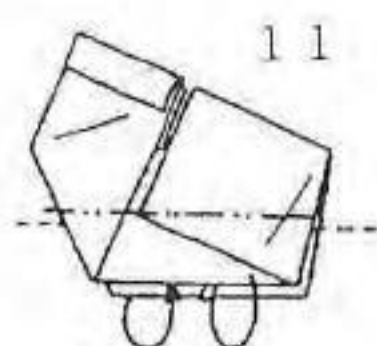
姫色紙とは、縦、横各7センチの白い色紙が、色紙掛けに収まり、品良くまとまった色紙です。ふだん

作りなれている大きめの色紙とはまた違った趣があります。

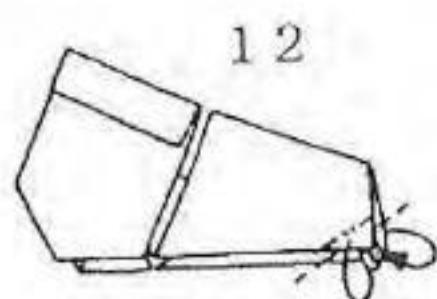
作品は指定の「姫色紙」を使用させていただく以外に特別な制約はありません。作品も創作作品とは限りません。自由に制作してください。可愛い作品、すてきな作品、あなたの作品を大勢の方々に見て戴きましょう。奮ってご参加ください。姫色紙については、おりがみはうすにお尋ねください。

作品展—9月12日

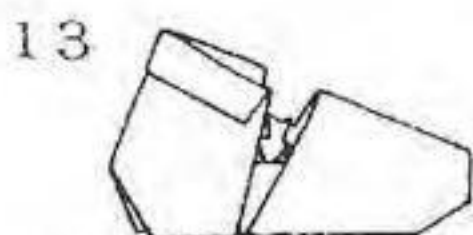
作品締切—9月7日必着



11
内側に折る



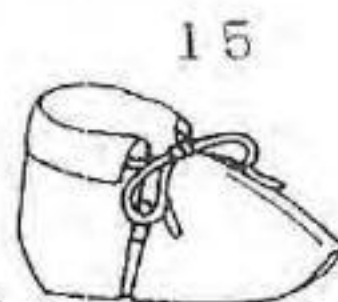
12
角を少し内側に折る



13
矢印のところの内側を広げる



14
細い紐を通して結ぶ



15

山折り 谷折り

嘘のお褒め?

笠原邦彦

『駄じゃれて言うんじゃないけれど、この馬の足は実は鹿の足なんだよ。でも、だれもそんなことに気付かないし、そんなうそが平気で通せる!それこそが折り紙造形の面白さなんだよ。』

もうふた昔以上も前のことですが、千野利雄先生が、あの名作「飾り馬」を示されながら教えて下さったことです。これは要するに、「個性美の表現における、ディフォルメの大切さ」とでも言うべきことの教えです。

さて先日NOAで、千羽鶴折形の出版パーティーが催されたのにご招待戴き、豪華な復刻版の贈呈まで受け、すっかり嬉しくなりましたが、それをじっくり拝見しておりますとき、ふと千野先生のこの教えが思い出されました。すなわち、「おりづる造形」のこの上なく見事な嘘!

実際の鶴とはまるでかけ離れた造

形でありながら、いやそれゆえにこそ、誰の心にも鶴の美をイメージさせてくれるからです。

昨今、若い名人おりがミアンが続々と出現し、驚異的なテクニックで私などを魅了してくれます。十年前なら、作ろうという考えだに持ち得なかったような造形までが実現されて、驚かされるばかりです。ただ、そのような驚異的な作品を拝見していて、ひとつ感じるがあります。

それは、どうもまっ正直な人ばかりで、造形における嘘(大胆なディフォルメ)がほとんど見られないということです。負け惜しみで言っているではありませんが(いや、そんな思いがまるでないとも言えなくもありませんが)、そんなふうに見えるやしません。あのう、誤解しないで下さいね。私は、最高度のテクニックにより導き出された作品には、そのことでの成果に大喝采をおくるものです。さりながら、折り紙には様々な可能性があるのであって、技法の極みを求めることは、それはその可能性のひとつの達成だと思ふのです。

けれど、他の可能性として、もし個性美の表現を意図した造形を求めようとするなら、まっ正直な造形で

はそれは「没个性的」となりがちではなかろうかと、そのように思っています。つまり、折り紙ならではのディフォルメの面白さ、言葉は悪いですが、「嘘の造形こそが見せてくれる新鮮さ」を、ちょい先輩ぶってお褒めしたいと思ひます。

まあ本音を言えば、そんなお褒めをしますのは、かく言う本人が根が正直者となかなかうまい嘘がつかないで、仲間を増やしたいがための誘いでもありますね。それと、この十数年、没頭してきました「幾何図形」の突戦、これがまったく嘘がつかない分野とて、それがためかすっかりくたびれてしまいましたこともあります。

それにしても、千野先生はじめ、伊東万燿先生、竹川青良先生、揃って、最上の美しい嘘の造形をもって、豊かな個性の花を咲かせて見せて下さいました。今さらながら懐かしさに胸が熱くなる思ひです。

いや、年に似合わぬ懐旧談など止めましょう。それよりも最近のこと、かの前川淳さんが、かなり嘘っぽくなってきた様子で(一例としてピラニア、かに)、ぞくぞくとした期待感を抱いています。こりゃ、負けちゃあいられませんな。

つまみ折り

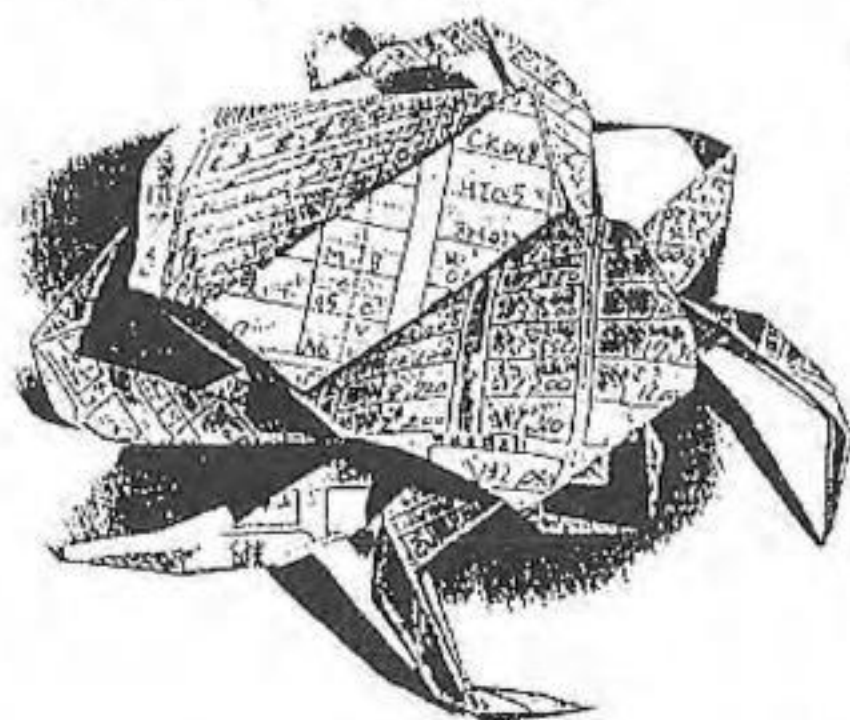
人手食い虫

6月27日付の日経流通新聞に、十條製紙株式会社の広告が掲載されました。

この広告には、下図のような六本足のクモ(?)の折り紙作品の写真(イラスト?)が出ています。「人手食い虫」という大きなコピーが付けられていました。

折紙探偵団新聞の編集部でも、いろいろとチャレンジしてみたのですが、どうしても折り方がわかりません。たぶん切り込みが入っているのだろう、口のあたりは確かに切っているよ、2枚かな、どうして八本足にしなかったのだろう、などと、ワイワイガヤガヤ苦心サンタン。これ本当に折り紙なのかなあ。

どなたか、この作品について、折り方の分かった方、あるいは、作者を知っている方がおられましたら、編集部までご一報ください。



オリガミホームステイネットワーク

いまでは、ジュードー、カラテ、ゼン、スシと同じように、世界の共通語となった「オリガミ」。

世界中の折り紙ファンは、日本を折り紙のメッカと憧れて、いつの日か訪日することをとても楽しみにしています。

彼らが日本に滞在するときに、一番困るのが、日本の物価の高さ、特にホテル代です。

また、折り紙が好きな海外の友人達は、日本文化にも深い興味を持ち、ホテルのルームサービスよりも、日本のごく普通の家庭の生活を知りたいがっています。

おりがみはうすには、世界中からしばしばそのような問い合わせが舞い込みます。

そんな彼らに、なんとか手を貸してあげられないものでしょうか? 今すぐに、何月何日からという話ではありませんが、近い将来そのような話があるかもしれません。

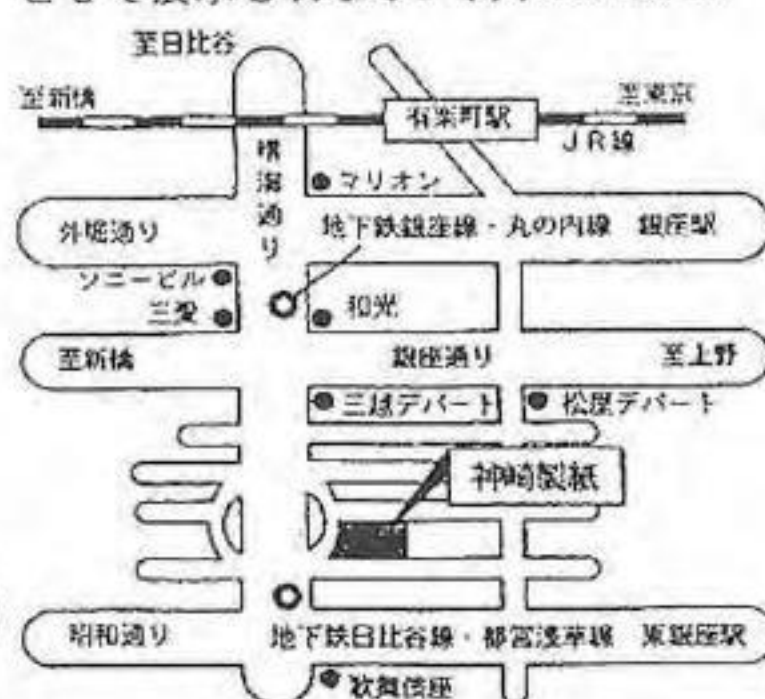
そのような時に、数日でも彼らを泊めてあげたい、という方がいらっしやいましたら、ぜひご連絡をお願いいたします。

「外国語ができないから…」などとしりごみすることなんてありません。あなたの「オリガミ」がなによりの共通語になるはずですよ。

「私は英語圏の人を泊めたい。」とか「うちは女性でないと…」などの条件があれば、なるべくその内容まで編集部にお伝えください。

巨大骨格恐竜只今展示中

現在連載中のティラノサウルス骨格折り紙(作・吉野一生)が巨大作品として展示されます。展示されるの



東京都中央区銀座4丁目9番8号
神崎製紙株式会社 1Fロビー

はティラノサウルスの肉付きのもの(探偵団新聞第4号に紹介済み)と骨格です。

いずれも体長約3メートル高さ約2メートルの大作です。制作は川口おりがみ研究会(代表・金杉登喜子)場所は以下の通り。製紙会社の1Fロビーに展示されます。

期間は7月22日~8月30日の間(土曜、日曜は休みです)、時間は午前9時~午後5時まで。

加瀬さんの祝賀会

加瀬三郎さんの藍綬褒賞祝賀会が6月20日東京・錦糸町のロッテ会館で開かれた。会場には、視覚障害者関係をはじめ、政界、マスコミ、加瀬さんの協力者、ボランティア、それに折り紙関係者など多方面にわたる加瀬さんの交際の広さを表すように、300人以上の招待客が加瀬さんの授賞を祝った。

会場には、90才を過ぎた加瀬さんのおかあさんも元気な姿を見せていた。

加瀬さんは10月の初めには、イギリスに折り紙指導の旅にでます。何かで加瀬さんにお手伝いをしませんか。しかし、お手伝いをしたいと思っても、実際に何をしたらいいのかわかりません。どなたか良い考えはないでしょうか。どんなことでもかまいません。私たちの出来ることを一緒に考えませんか。ご連絡ください。

千羽鶴折形復刻版出版記念 特別講習会

千羽鶴と折ろう、折ろう

日本折紙協会発行、千羽鶴折形復刻版の執筆者の一人でもある岡村さん(探偵団新聞編集長)の「書けなかった千羽鶴秘話」のお話と実技。今や古典の岡村といわれるほど周囲から評価をうけている岡村さん。その岡村さんが皆さんと楽しいお話を交えた一時を過ごす特別講習会を開きます。ひとつひとつの作品をじっくり作りながら、作品の解説を交えて、

講習します。

毎月一回、各月により予定が変わる場合があります。9月6日、10月4日、11月1日、第一金曜日の予定です。

時間=午後6時~8時

会場は、ギャラリーおりがみはうす 会費=2000円 会場の都合もあり、定員は先着順限定10名とさせていただきます。

申込はおりがみはうすまで。

PHONE(03)5684-6040

やなみくん

読むと青くなる折り紙漫画
第9話 ああ探偵団
世間亭キニスキー



ノンフィクションかどうかはあなたの目で確かめてください。

折紙探偵団例会

今月もギャラリーおりがみはうすで探偵団の定例会を開催します。

今回は8月31日(土)、9月28日(土)午後6時からです。

内容についてはガチガチの折り紙論議ばかりするわけでもありません。ま、気楽な感じですから。

会費は軽食代として1000円~1500円程度です。お電話ください。

おりすじ

「獅子の翼、鷺の牙」

木村良寿

さて、その後の私は2年に一度の世界折紙展製作と毎年夏のシンポジウムでのみ紙を折る輩になり果ててしまっていた。それがこの世界に舞い戻る羽目になったのは'89年の秋。その年の春にオープンして半年の「おりがみ はうす」で西川誠司、吉野一生と共に「恐竜おりがみ三人展」を行ったのである。

その際に名乗ったのが「Origami Team PAPIROSAURIA」(オリガミチーム パピロサウリア)。パピロサウリアは学名風の造語で和訳は「紙竜目」になる。実は少々ありがち気味な「折紙探偵団」よりこの名前の方が気に入ってるんですがねえ。

それから度々「おりがみ はうす」で集まりを持つことが重なり、いっそのこと会を作って同人誌まで出してしまおう、となった訳である。

ここで少し私個人の考えを表しておこう。

折紙探偵団設立の主旨とはなんであるか?

そんなものない。
元々、自然発生的に成り行きで出来ただけのものである。〇〇の為に…

と言った意図は、私自身としては毛頭ない。まあ出来ちゃったもんはしょうがない。何か使い道はないものだろうか。

探偵団の使い道のひとつはオリガミアン(を中心とした人々)の交流の場とすることである。

実は探偵団とは折り紙界のグループとしてはかなり特異な存在である。

一人または数人の先生を中心として折り方の講習や作品の製作を行う、といった一般的なサークルと探偵団とでは、カラオケ教室とアマチュアバンドのコンサートくらい違う。

それでは他の使い道は?

それは団員たちの個性を発揮できる場をつくることではないだろうか。

別に創作折り紙の発表のみではない。論文でも随筆でもマンガでも何でもいい。極端なことを言えば直接折り紙に関係ない事柄でもいい。いずれはそういった物も扱っていくつもりでいる。

まあためしに定例会に来てごらん下さい。我々は「来る者は拒まず、去る者はちょっとは追う」ですから。

ギャラリーおりがみはうす個展案内

高濱利恵「秀作おりがみ作品展」8月8日~9月10日 恒例となった、高濱利恵さんの作品展。今年は、より一段とパワーアップ、一体どこにこんなパワーが隠されているんだろうと見る人を唸らせる作品の数々。百枚の百人一首(玉川学園博物館蔵)、七福神、12枚の花札などなど、いま、ギャラリーの中は、高濱さんの作品であふれています。是非、一度この機会にお出かけください。今回は、作品の一部を卓上型カレンダーにして、皆様にお分けいたします。(定価、1200円)

『紙色紙』合同作品展 9月12日~10月8日 折り紙愛好家の方々、グループの皆さん方の作品を広く募集して合同作品展を開きます。可愛い色紙に構成した作品は、今後の作品作りのお役にたてると思います。折り紙の情報発信基地おりがみはうすへどうぞ。

通信

ティラノサウルスの骨格を連載中の吉野一生氏が、7月24日の深夜テレビ番組、プレステージの中で紹介されました。現代のこだわりのある名人ということで、探偵団新聞第3号に紹介された、ティラノサウルスをレポーターの質問を受けながら、折り上げるところが、放映されました。厚紙を湿らして折るテクニックや、角の無いところから角を折りだしたりするところには、レポーターもびっくり。いい形で折り紙の紹介が出来ました。

取材は、おりがみはうすで行われ、10分ほどの放映時間に対して、録画撮りは9時間もかかりました。

他にも、開催中であった、斎藤静夫さんの作品展と鈴木稔君(中3)の折ったミニチュアの作品、Mr. こだわり=目黒氏の角だし作品の数々などが、映像で紹介されました。

発行・折紙探偵団

112 東京都文京区白山5-36-7

ギャラリーおりがみはうす内

phone (03)5684-6040

発行人・木村良寿

編集人・岡村昌夫